

ARMAIT!

JICA海外協力隊 2024-2 早川史織



マンゴーは高級品？



私は、「林業・森林保全」という職種で
マレーシア ボルネオ島 サバ州のSAFODA Eco Forest Parkに派遣されています。
今回は、活動先で採れるフルーツ「マンゴー」についてお話しします！

6月から7月にかけて、活動先はマンゴーで溢れていました！！



赤丸の中にマンゴーがなっています！

配属先に植えてある木の中にいくつかマンゴーの木が植えてあります！

今年は豊作だったようで、活動先の木に
たくさんマンゴーがなっていました！

（昨年もいくつかなっていましたが、熟れたら
採ろうと待ち構えていたら、いつの間にか
サルに取られていました...🐒）

この時期は活動先に行くと、「マンゴーいる？」と聞かれ、「ほしい！」と答えると、
3個～5個のマンゴーをもらい、毎日無料マンゴー生活を送ることが出来ました。（笑）

たくさんのスタッフが毎日マンゴーを採っているので、

だんだん、手に届きやすい場所にあるマンゴーは無くなってきます。

手の届きにくい、上の方にあるマンゴーはどうやって採るのかというと、、、



1. 石や木を投げて、熟れたマンゴーを落とす

近くにある木の枝や石をマンゴーの木に投げて、その振動で熟れているマンゴーを
落とします。古代的なやり方ですが、うまくいけば一度にたくさん落ちてきます。
写真からも感じられると思いますが、マンゴーを食べたくてみんな必死です（笑）



2. マンゴーを採るための道具を作って採る
もう1つの方法は、専用の道具を使います。
スタッフが、手の届きにくい上の方のマンゴー
を採るために道具を作っていました！
何かに使われていた長い棒の先端に鎌のような
ものを付けて、1個1個落として採ります。

簡単そうに見えますが、意外とコツが必要です。
熟れて落ちやすくなっているマンゴーを見
分けられないと、熟れていない＆落ちにくい若
いマンゴーと長時間戦うことになります！

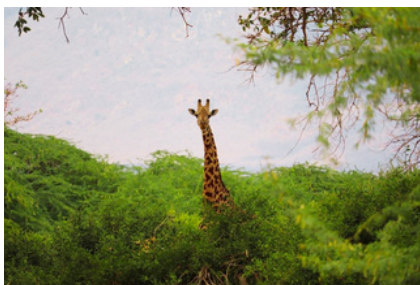
この時期は毎日たくさんもらっていたので、
実はまだ食べきれていないマンゴーたちが家の冷蔵庫に眠っています。日本ではマ
ンゴーというと1個 5,000円程する物もある高級な果物です。
品種は違いますが、マレーシアに来れば、おいしいマンゴーが無料で味わえます！
是非マレーシアへお越しください！



元気に日本に帰ること



7月末にJICAマレーシア事務所で中間・最終報告会が開催されました。
私はその中の一枠をいただき、
「元気に日本へ帰ること」というテーマでお話しさせていただきました。
私の叔父は40年前、ザンビアに獣医として派遣されていましたが、
任国外旅行中に事故に遭い、命を落としました。
叔父の父である大叔父は、同じような思いをする人が今後出ないようにとの願いから、
他の遺族の方々と共に「青遺海の会」（青年海外協力隊遺族の会）を立ち上げました。
私は協力隊として活動していた叔父に会ったことはありませんが、大叔父の家に飾られていた
アフリカの野生動物の写真を見て、野生動物に興味を持つようになりました。



発表では、大叔父がタンザニアで亡くなった叔父に会いに行
った日の記録に残された思いや、「青遺海の会」が訓練所で
伝えてきたことについても、簡単ではありますがお伝えしま
した。
私がこの話をしてよいのか、きちんと伝わるのか不安もあり
ました。

発表後、隊員の方々から、「現地の人々に気持ちが向くあまり忘れがちだったけれど、
日本で待つ家族への感謝の気持ちに改めて気づかされた」「マレーシアは安全だと感じていた
分、少し気が緩んでいたかもしれない」といった様々な感想をいただきました。
私自身も、この話をすることで、日本で待っている家族の存在を改めて感じ、
元気に日本へ帰ることの大切さを実感しました。
今後、協力隊として活動する中で、命を落とす方が出ないことを心から願っています。
今回、このテーマでお話しするにあたり、貴重なお話を聞かせてくださった
叔父の同期隊員（S59-2）の皆さま、お話しの機会を作っていただいたVCのお2人に、
心より感謝申し上げます。